中期 経営目標	短期 経営目標	具体的な取組・方策	評価指標	実績値	目標値	評価 (自己評価の結果)		改善策
				令和6年度	令和7年度	1回目	2回目	
【知】 生涯を通じて生きて働く学力を身に付けた児童を育てる。	①主体的・協働的に学ぶ力（非認知能力）と思考力・判断力・表現力（認知能力）を身に付けさせる。	①単元内自由進度学習など、児童が自ら学習を進めたり、他者と協働しながら学習したりする授業を行う。	①調べたり、考えたりすることが好きと答える児童の割合 ①各学年の2教科（国・算）の全テストの思考・判断・表現の到達度が60%以下の児童を減らす。	92% 75% (-) 10名	94% 減			
	②自分の考えを、自信をもって伝えられる表現力を身に付けさせる。	②授業の中で自分の考えを説明する場や日常的に思いを話す場を設定する。	②相手の立場にたって、自分の考えを伝えようとする児童の割合	92%	94%			
【徳】 ふるさとや人を大切にし、よりよく生きようとする児童を育てる。	①ふるさと（地域）に愛着をもった児童を育てる。	①生活科、総合的な学習で、切串の『ひと・もの・こと』を題材にした児童主体の探究活動を行う。 ①コミュニティースクールとして、地域の人と様々な形で関わる機会を増やす。	①ふるさとが好き、大切にしたいと思う児童の割合	100%	100%			
	②自他を大切にできる基盤となる自己肯定感を高める。	②単元内自由進度学習や、児童の自治活動など、児童が自己決定できる場を増やす。教師は肯定的に関わり、振り返りを促す。	②自分がかんばったと思うことや、成長したと思うことが表現できる児童の割合	92%	94%			
	③他者の考えを聴こうとする児童を育てる。	③授業や帰りの会などでフリートークやサークル対話を行い、自分の考えや振り返りを互いに伝え合う場を設ける。	③相手の話をしっかりと聴こうとしている児童の割合	96%	98%			
【体】 主体的に健康を保持増進しようとする児童を育てる。	①主体的に健康づくりに取り組む態度を育てる。	①日々の給食指導や食育指導による児童への啓発に年間を通して取り組む。 ①行事などに関連させた体力づくりの取組や業間運動を行う。	①給食をバランスよく食べようとしている児童の割合 ①体育を除く1週間の運動時間が60分以上の児童の割合	98% 96%	80% 96%			
	②主体的に運動やスポーツに関わる習慣や態度を育てる。	②運動やスポーツへの多様な関わり方を通して、児童が運動の特性や楽しさを味わえる授業づくりを行う。	②体を動かすことやスポーツには楽しさが「ある」と答える児童の割合	92%	92%			

開かれた学校をつくる	保護者の安心感を向上させる。	<p>○学校だよりや学級通信、ホームページやインスタなどで、学校、児童の様子を発信する。</p> <p>○迅速・丁寧な保護者対応を行う。</p>	<p>○情報発信への保護者の満足度</p> <p>○相談体制への保護者の満足度</p>	<p>96%</p> <p>96%</p>	<p>96%</p> <p>90%</p>			
働いてよかったと思える学校をつくる。	職場の心理的安全性を向上させる。	<p>○授業やその他の教育活動における教職員の強みを全体で共有するとともに、お互いが協働して業務を遂行する雰囲気づくりを行う。</p> <p>○教職員が働きやすさを感じることができるよう、働き方改革の提案や業務改善を実施する。</p>	<p>○仕事にやりがいを感じている教職員の割合</p> <p>○風通しのよい職場だと感じている教職員の割合</p>	<p>91%</p> <p>91%</p>	<p>90%</p> <p>90%</p>			